

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

27年10月29日

和泉市長 あて

団体名 レインボーシード
代表者名 松本丞美
所在地 和泉市黒石町

電話 0725-

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 ほほえみフェスタ・ほほえみ座談会・シブリングキッズ会
2. 事業の概要
 - ・月に1回障がい児保護者と支援者との「ほほえみ座談会」開催
 - ・年に1～2回バリアフリーイベント「ほほえみフェスタ」開催
 - ・障がい児兄弟姉妹の交流会「シブリングキッズ会」
3. 事業費総額 323,000 円
(うち、対象経費 233,000 円)
4. 交付希望額 116,500 円
5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(○ はい ・ いいえ)
6. 添付書類
 - (1) 団体概要調書（様式第2号）
 - (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
 - (3) 事業計画書（様式第3号）
 - (4) 収支予算書（様式第4号）
 - (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	レインボーシード		
団体名	レインボーシード		
団体の目的	障がい児の家族だけでなく、健常児家族、支援者なども一緒に活動をし、お互いに遠慮のない関係ができる場所づくりを目的とする。		
市内事務所の所在地	〒594-1113 和泉市黒石町		
	【専用事務所○・ 住居と兼用 ・ その他（ ）】		
	電 話	0725（ ） 5	FAX 同左（ ）
フリガナ	マツモト ツグミ		
代表者氏名	松本 丞美		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	（連絡責任者氏名）※ フリガナ マツモト ツグミ 松本 丞美		電 話 FAX
設 立 年 月	24 年 9 月	主な活動地域	和泉市・岸和田市・堺市
会報等の発行	有（ ）回発行）○無	会員数	人
メールアドレス	@gmail.com		
ホームページ	http://kansai-hohoemi-festa.jimdo.com/		
主な事業内容	・ 障がい児保護者と支援者との座談会 ・ バリアフリーイベント「ほほえみフェスタ」開催 ・ 障がい児兄弟姉妹の交流会・支援		
主な活動の実績	平成25年2月10日 第1回ほほえみフェスタ開催（大阪市中央区） 平成25年8月25日 第2回ほほえみフェスタ開催（和泉市） 平成26年7月6日 最強家族計画開催（大阪市北区） 平成26年11月3日 第3回ほほえみフェスタ開催（堺市） 平成27年5月24日 第4回ほほえみフェスタ開催（和泉市） 月に1回 ほほえみ座談会		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 （過去3年間の 実績を記載）	年度	名称	金額（円）
	27年度	ちょいず	74,634円

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

申込事業の名称	ほほえみフェスタ・ほほえみ座談会・シブリングキッズ会
事業の必要性 * 別紙添付可	（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等） ・発達障がいをもつ我が子とお出かけをする時、ついつい周りに遠慮して行かなくなってしまうがち。それを少しでもイベント側が理解をして、大丈夫と言ってくれたら、人目を気にせず行きやすくなる。また、健常の子供さんとも関わってほしい。関わるきっかけとなつてほしい、そんなお互いに遠慮のない関係ができるイベント場所が必要なひとがいるのではない。 ・座談会は障がい児家族だけの集まりではなく、ボランティアや、教育関係者の人など支援者と一緒に情報交換や悩みを話しあうことで、支援者と保護者のお互い普段聞けない事などを話し合える場所がほしい。 ・障がい児兄弟姉妹は親にも友達にも話せない悩みがあります。一人で抱えてしまわないように、きょうだい児同士で交流することで、悩みを話せたり、前向きに将来を語りあえる仲間作りを目的とした会をつくる。 （申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果）団体・参加者・地域全体のメリット等障がい、健常、関係なしで参加してもらいたい。お互いに遠慮のないバリアフリーの場所づくりを目指す。親も兄弟姉妹もひとりで抱え込まないで、なんでも話しあえる会を作る。
事業内容 * 別紙添付可	（主な対象者） 子育て世代の家族・発達障がい児を育てる家族・シブリングキッズ会は障がい児兄弟姉妹で小学生以上20歳未満対象 参加予定者数 300～400 人 （事業実施期間） 座談会は毎月。28年度第6回ほほえみフェスタ開催予定。きょうだい児交流会は年に4～5回予定。 （事業実施場所） 和泉市（和泉シティプラザなど） （問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか） イベント開催に関しては出展者募集の際に発達障がいを持つ子供さんも来場されるということを理解していただいた上で出展を受け付けている。また、一部障がい児のママも出展、スタッフなどで参加している。保育ルームも障がい、健常の壁をなくして、保育士など知識のある人にスタッフで入ってもらい一緒に空間で遊べるようにしている。 シブリングキッズ会に関しては ○子どもは、「話し合いなさい」と言われて話し合うことは苦手です。特に話し始めることが苦手です。2～3ヶ月に一回仲間が集まり、何かを一緒に作る、ハイキングに行くなど、遊びや仕事を入れると自然に話し合えると思います。話し合いのほとんどはどうでもいい話かも知れませんが、でもそれが大事なことです。その中で、ここでは何を言っても大丈夫なんだという実感がもてて初めて大事なことを話し合います。 年齢が高い仲間が集まった時は、最初から「大事な話」を行う。 ○基本的に危険な事以外は、大人は介入しません。仲間同士で話し合い、活動内容をすすめていきます。 また、子どもたちの話し合いの結果を親に環流しようとしたり、介入しすぎない。見守りをします。 自分達で考え、楽しい時間を持ってくれることを目標にします

事業スケジュール	時期 (月)	内容
	2月	座談会開催、ほほえみフェスタ会議（テーマを決める・出展者募集開始）
	3月	座談会開催、ほほえみフェスタ会議（出展者締切・チラシ作成・チラシ仕訳）
	4月	座談会開催・シブリングキッズ交流会開催（子供同士で次回打ち合わせもする）・
	5月	ほほえみフェスタ事前会議（チラシ配布、告知開始）
	6月	第6回ほほえみフェスタ開催
	7月	座談会開催 座談会 シブリングキッズ交流会 ほほえみフェスタ会議（イベント内容やテーマを決める・出展者募集開始）
	8月	座談会 シブリングキッズ交流会
	9月	座談会 ほほえみフェスタ会議（出展者締切・チラシ作成）
	10月	座談会 シブリングキッズ交流会（チラシ仕訳）
	11月	座談会 ほほえみフェスタ事前会議（チラシ配布・告知）
	12月	第7回ほほえみフェスタ開催
	29年1月	座談会 シブリングキッズ交流会
	2月	座談会
	3月	座談会

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： ほほえみフェスタ・ほほえみ座談会・シブリングキッズ会

1. 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	積算根拠
支援金	116,500	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	206,000	イベント協力金（出展料 98000×2回開催 協賛 10000）
自主財源	500	
合 計	323,000	

2. 【支 出】

(単位：円)

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
賃借料	112,400	会場費（イベント 46,200×2回・シブリング会 4,000×5 の会場）
印刷製本費	59,600	イベントチラシ（1万部×2=42,000）ポスター（4,300× 2回=8,600）コピー1000、活動内容紹介チラシ 8,000
報償費	30,000	座談会講師謝礼 5,000×6人
消耗品費	5,000	事務用品類、救急セット
役務費	26,000	保険 6,000×2・郵便料 7,000×2
その他（対象外）	75,000	スタッフ謝礼 5,000×15人
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)	15,000	保育ルームおもちゃ、イベント装飾
合 計	323,000	
対象経費	233,000	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

(○ はい ・ いいえ)

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

・申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。

事業内容の縮小する。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。